

あいさつ

青木村

おはようございます。

本日、令和4年第1回青木村議会3月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆様方にご出席をいただき、誠にありがとうございます。日頃議員の皆さんには、村政の運営にご理解・ご協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

西暦2022年のこの時代にあつて、戦争を始めた国があります。

ロシアは主権国家であるウクライナに侵攻し、全面戦争を仕掛けました。現代においてまれにみる大国の暴挙であり、国際社会は第二次世界大戦後、最も深刻な危機に直面しています。今この時にもウクライナ侵攻は激化し、罪のない市民の命を奪っております。

我が国にとっても、遠い国のできごとでは決してありません。石油、天然ガス等のエネルギー資源、そして半導体、レアメタルなどの輸出制限による経済への影響、もう一つ大きなこととして、東南アジア地域の安全保障問題への波及も心配されます。

一日も早い終戦と平和を祈りたいと思います。

さて、国内で新型コロナウイルス感染者が初めて確認されてから約2年、感染力の強い変異株が次々に出現し、デルタ株に続き第6波であるオミクロン株のパンデミックが日本列島を襲いました。

長野県でも、オミクロン株による新規陽性者が過去に経験のない規模で増加しました。入院者数の増加による医療のひっ迫を避け、療養者、濃厚接触者の増加による社会機能の停滞を防ぐため、1月27日から3月6日までの間、全ての圏域について感染警戒レベルを6とし、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「まん延防止等重点措置」を講じました。

その後、新規陽性者が減少傾向にあることや、病床利用率も低下したことから、「まん延防止等重点措置」は3月6日で解除となりましたが、引き続き感染予防対策は徹底して行っていかなければなりません。

青木村のコロナワクチン集団接種3回目につきましては、まず村内に住所のある65歳以上の方が1月26日～29日、64歳以下の方は2月20～21日、2月28日～3月1日と順次実施されました。

村では引き続き、「新型コロナウイルス感染症拡大防止」と「地域経済活動の活性化」の両立を図るため、皆様のご協力をお願いしてまいります。

次に、青木村が策定するすべての計画の基本となります第6次青木村長期振興計画は、2月22日の策定審議会において最終案が決定され、村に答申がされました。

本議会で議決をお願いするわけですが、策定にあたっての基本的な姿勢として、なるべく多くの方からご意見をいただき、計画に反映していくという考えのもと進めてまいりました。村民2,000名に実施した村づくりアンケート、全12地区で開催した村づくり懇談会、中学生によるキャッチコピーコンテスト、パブリックコメント、各種団体からのご意見、ご助言やご提案を反映した内容となっております。

今回の計画は、まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体化したこと、なるべくわかりやすい表現にしたこと、6つの重点プロジェクトなどによりメリハリをつけたことが特徴となっております。

今後10年間の村づくりの基本的な方向性を示すものでありますので、ご審議をどうぞよろしく申し上げます。

次に、国の地方創生臨時交付金を活用して実施しておりますコロナ対策事業についてであります。

令和3年度については、事業費約1億8百万円（内交付金 約9,800万円）で、19の事業に取り組みを行っております。

主なものは、保・小・中学校の給食費の無料化で約3,400万円、プレミアム消費券発行事業で約1,650万円、公共的空間安全・安心確保事業で約1,000万円、コロナワクチン円滑実施事業で約1,000万円などです。事業はほぼ完了しており、給食費の無料化に対しては、7月に実施した村民アンケートにおいて、多くの保護者の皆さんから感謝の言葉をいただきました。

次に令和4年度の事業についてですが、事業費約1億円（内交付金8,718万円）で、7事業に取り組みを行う予定で、令和4年度当初予算に計上をしております。

主なものは、令和4年度も継続する保・小・中学校の給食費無料化で約3,400万円、地域消費券発行事業で約550万円、公共的空間安全安心確保事業で約600万円、行政事務デジタル化推進事業（マイナンバーカードを活用して住民票をコンビニエンスストアで交付が受けられる仕組みを構築するもの）で約1,650万円、保育園の環境整備事業に約2,500万円を計上しております。

コロナ対策については、引き続き必要な方へ、迅速かつ公平で平等を基本に実施してまいります。

この度議案として、青木村太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理に関する条例を提案いたしております。これは、今まで要綱で適正な実施をお願いしてまいりましたものを、今回内容を見直し条例化をお願いするものであります。

自然や生活環境を守ろうと、県内でもいくつかの自治体で、事業者と近接住民や関係

区の同意取り付けを求めるなど、地域での理解が得られず、望まれない太陽光発電設備の設置に歯止めをかけるための規制強化を行っております。

村内では以前より、野立ての太陽光発電設備の設置について、周辺土地利用との調和や、雨水の流出増や景観阻害への懸念などからトラブルが発生するなど、行政としても苦慮してきた経緯があります。国、県及び村の現行法等の中で対応できないか検討も重ねてまいりましたが、この度多くの村民の皆さんの要望に沿うべく、将来を見据えた条例の制定を、私は覚悟を持って提案させていただきました。

多くの課題を解決するためのこの条例の制定は、青木村の精神的な柱となっている江戸時代の農民一揆、昭和の農民運動、満州移民の拒否や平成の合併への不参加などと同様に、後々村民の皆さんに大きく評価していただけるものと、私は確信しております。

しかし一方では、東日本大震災の際の原子力発電所の事故を契機として、再生可能エネルギーへの転換が大きな課題となっております。また、最近の時代の潮流であります①SDGsの達成、②ゼロ・カーボン社会の実現、中でも地球温暖化対策は重要な課題として捉えています。

この動きにつきましては、今議会での議決をお願いしております長期振興計画の各施策の中で、村の責務としてしっかり取り組むこととしております。

次に、上田地域広域連合の重要課題や事業についてであります、

○資源循環型施設建設について

環境影響評価につきまして、「長野県環境評価条例」に基づき手続きを進めており、現在は、調査、予測、手法等を記載した方法書を作成しているところです。

今後は、地域住民の皆様へ方法書の内容についての説明会を予定、また、環境対策や防災対策、余熱利用計画などを整理する基本計画策定業務に着手しており、概ね予定通りに進捗している状況です。

○地域医療対策について

ふるさと基金を活用して信州上田医療センター医療従事者確保事業や、病院群輪番制病院に対する補助事業等を実施しております。その成果といたしまして、2月1日現在、信州上田医療センターの医師数は初期研修医を含め79人で、昨年同期より5人増加となり、一層の充実が図られたものと捉えております。

補助事業については、昨年1月から12月までの上小医療圏の救急搬送収容件数は8,859件で、病院群輪番制病院と信州上田医療センターで、全体のおよそ84パーセントを受け入れていただいております。今後も支援の充実を図り、地域の安全・安心な救急医療体制の構築に向けて取り組んでまいります。

○救急出動について

令和3年中の救急出動件数は9,481件で、令和2年より605件増加しました。

今後、人流の増加に伴い、増加傾向になると推察されます。

○火災予防について

令和3年中の火災件数は62件で、前年と比較し8件の減少となりました。住宅火災により亡くられるのは、65才以上の高齢者が多く、「高齢者の住宅防火対策」がさらに効果的となるよう、予防広報活動を展開してまいります。

さて、政府は先頃、人口の著しい減少に伴い地域社会の活力が低下した地域など、全国の市町村数の51.5%にあたる885の自治体を「過疎地域」に指定しました。前回より65の市町村が新たに増えたとのことであります。

青木村は幸いにしてその中に入っておりませんが、これは、議会や村民の皆さんの村の活性化に向けた努力の賜物であります。

次に、昨年11月に現地確認をしながら各地区からいただいた道路や水路等の271か所の要望につきまして、既に今年度予算で実施した箇所もありますが、緊急性の高いものから来年度予算の中で対応してまいります。

さて、2月17日に公表された内閣府「月例経済白書」によりますと2月は、

『景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。』
とのことであります。

続いて、先の12月定例議会閉会后から本日までの主な行政報告をさせていただきます。

1月2日(金)、「青木村成人式」が男性17名、女性18名の計35名が出席して行われました。

新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、式典では恩師などからのお祝いの言葉、新成人のあいさつが述べられました。式典終了後は関係者のみの交流会が開催され、落ち着いた和やかな雰囲気の中、恩師やクラスメートとの久しぶりの再会を喜びました。

新成人の代表からは家族やふるさとへの感謝や、新たな決意が述べられました。

1月12日(水)、上田市丸子地域自治センターにおいて「上田地域定住自立圏形成に関する変更協定締結合同調印式」が行われました。

平成23年7月の協定締結以降、5年ごとに内容の見直しを行い、令和4年度からの第3次共生ビジョンが策定されたことから今回の運びとなりました。新たな課題である脱炭素社会、周期医療、DX、防災など時代の要請に合わせ、その解決に向けた協定の内容となりました。

1月20日(木)、「株式会社竹内製作所青木工場新築工事起工式」が挙行されました。昨年12月、村の土地開発公社が施工した用地に、来年5月の操業を目指して、竹内製作所による青木工場新築工事が始まりました。

この青木工場建設は、村の産業の拡大、地域経済の底上げ、雇用や税収の増を図り、ひいては移住・関係人口の増による村の活性化につながる世紀のプロジェクトです。青木工場の開業に伴い、周辺道路の通行量の増加が見込まれることから、上田建設事務所と村では、新工場の完成・開業に間に合うよう国道143号および周辺村道の改修工事を実施しています。

次に、今年度の主な事業の進捗状況について申し上げます。

総務企画課関係

- ① 雨量等監視システム定期点検委託・・・・・・・・・・・・・・・・・・3月達成
見込
- ② 役場庁舎受変電設備更新工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成
- ③ 長期振興計画策定業務補助業務等委託・・・・・・・・・・・・・・・・・・3月達成
見込
- ④ 村長村議選挙・参議院議員選挙・衆議院議員選挙費・・・・・・・・・・達成

税務会計課関係

- ① 固定資産台帳等基礎資料整備業務・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成

住民福祉課関係

- ① くつろぎの湯高圧受変電設備更新工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成
- ② 青木診療所整備事業補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成
- ③ 保健事業・介護予防の一体的実施事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成
- ④ 佐久医療センター救命救急センター運営事業補助金・・・・・・・・・・達成
- ⑤ 塵芥処理費ゴミの分別ポスター等作製費・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成
- ⑥ 経済的困窮者生理用品無償配布事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成
- ⑦ 検診情報連携システム整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成

建設農林課関係

- ① 森林づくり推進支援金事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成
- ② 中之組沢砂防事業村道拡幅、当郷国道北3・6号線の用地測量設計・3月達成見込
- ③ 当郷地区 ため池同時決壊ハザードマップ作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・3月達成見込
- ④ サル捕獲用檻の購入・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成
- ⑤ 当郷地区 用排水路 測量・設計・・・・・・・・・・・・・・・・・・3月達成見込
- ⑥ 青木の森琴山川河川整備工事(2年度繰分)・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成

商工観光移住課関係

- ① 夫神登山ステーション貯水タンク設置工事・・・・・・・・・・・・・達成
- ② 第6波対応事業者支援給付金事業・・・・・・・・・・・・・3月達成見込
- ③ 若者定住促進住宅きだち団地屋根塗装工事・・・・・・・・・・・・・達成

教育委員会関係

- ① 夫神区公民館改築補助金・・・・・・・・・・・・・達成
- ② 中学校電話交換機更新工事・・・・・・・・・・・・・達成
- ③ 保育園リズム室空調設備設置工事・・・・・・・・・・・・・達成

簡易水道事業関係

- ① 当郷第1ポンプ・村松西洞ポンプ更新工事・・・・・・・・・・・・・達成

特定環境保全公共下水道事業関係

- ① 浄化センター 薬品供給ポンプ更新工事・・・・・・・・・・・・・達成
- ② 浄化センター 汚泥供給ポンプ更新工事・・・・・・・・・・・・・達成
- ③ 浄化センター 自動除塵機更新工事（令和3年度分）・・・・・・・・・・・・・達成

次に、令和3年12月21日専決の一般会計補正予算（第5号専決）について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた村民の皆さんに、速やかに支援する必要があることから専決し対応させていただきました。

歳入歳出それぞれ8,489万2千円を追加し、総額を31億1,752万9千円としました。新型コロナウイルス感染症への対応として、子育て世帯及び非課税世帯へ支援したものです。

事業名	予算額(千円)	事業内容
子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	34,716	国庫補助事業と村単独事業により、新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、子供たちを力強く支援しその未来を拓くため子育て世帯に対して臨時特別給付金を増額し支援します。 国庫補助対象者 ・中学生以下 533人 ・高校生 117人 村費単独対象者 21人

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	50,176	新型コロナウイルス感染症が長期化する中、様々な困難に直面している方々が速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう住民税非課税世帯等に対して臨時特別給付金を支給します。 ・給付額 10万円 ・対象者 483世帯
----------------------	--------	--

次に、令和3年度一般会計補正予算（第6号補正）について申し上げます。

歳入歳出それぞれ3,833万3千円を追加し、総額を31億5,586万2千円とします。事業の確定等に伴う予算の増減、コロナ感染症対策まん延防止等重点措置の適用の延長に伴う営業時間の短縮要請に応じた事業者への、協力金の支給や支援金の交付等について計上しました。

主な事業

	事業名	予算額(千円)	事業内容
①	2-1-5. 財産管理費 24. 積立金 6. 減債基金積立金	21,700	臨時財政対策を償還するための基金の積立に要する経費が交付税措置されたため基金の積立をします。
②	2-4-1. 戸籍住民基本台帳費 12. 委託料 7. 社会保障税番号制度住基システム改修委託料	2,728	転入転出者について社会保障税番号制度に対応したシステムの整備を委託します。 ・10/10 補助
③	2-4-2. マイナンバーカード 交付事務費	501	申請者の顔写真撮影や時間外交付受付等マイナンバーカード交付事務に係る事務費を増額します。 ・10/10 補助
④	3-1-2. 障害者福祉費 19. 扶助費	6,265	障害者補装具の給付、介護給付・訓練等給付費、訪問入浴サービス事業の実施に伴い増額します。 ・国庫補助 1/2、県補助 1/4
⑤	4-1-4. 新型コロナウイルス 予防接種事業	5,027	基礎疾患等を有する住民、64歳以下の住民のワクチン接種事業に必要な費用を増額します。
⑥	6-1-2. 商工業振興費 18. 2. 29 第6波対応事業者支援補助金	6,250	第6波の到来により影響を受ける飲食業や宿泊業等の事業者に対し支援金の交付 ・県補助金 10/10

さて、今議会では令和4年度予算を審議いただくことになっています。

一般会計予算は、30億8,300万円で前年度比3億5,100万円増となりました。

第6次青木村長期振興計画「明るい！優しい！あったかい！笑顔あふれる青木村～人と自然と産業が融和した豊かな郷～」のスタート年度となります。6分野並びに6つの重点プロジェクトの実現に向けて取り組みます。

令和4年度当初予算案の概要について

一般会計	30億8,300万	円	(前年度比3億5,100万円	12.8%増)	
特別会計	12億1,452万7千	円	(前年度比	3,007万円	2.5%増)
公営企業会計	7億4,748万7千	円	(前年度比	5,736万円	8.3%増)

主な事業

	事業名	予算額(千円)	事業内容
総務企画課			
①	2.1.6 企業人材派遣制度派遣事業	5,600	地域活性化を図るため企業人を起用します
②	2.1.10 地方創生臨時交付金事業	100,390 (約34,000) (約25,000) (約16,500) (約5,500) (約6,000)	コロナウイルス感染症対策事業に係る費用 【主な事業と予算】 ・保・小・中学校の給食費の無料化 ・快適・安全保育環境改善事業 ・行政事務デジタル化推進事業 ・地域消費券発行事業 ・公共的空間安全安心確保事業
③	2.2.1 村営バス当郷押出口バス停改修工事	1,555	村営バス当郷押出口バス停の改修工事を行います
④	2.5.3 参議院議員選挙費	7,481	選挙執行経費を計上
⑤	2.5.4 県知事選挙費	7,317	選挙執行経費を計上
⑥	8.1.5 災害対策事業	510	災害用備蓄品として主食等の購入

税務会計課			
①	2.3.2 評価替に伴う標準宅地鑑定評価委託料	1,851	評価替に伴う標準宅地鑑定評価委託料
②	2.3.2 航空写真共同撮影市町村負担金	4,912	航空写真共同撮影市町村負担金
建設農林課			
①	5.1.2 村農業支援センター事業	2,212	村農業支援センター職員を配置し、荒廃地対策、就農支援を図ります
②	5.1.3 現地確認用タブレット購入事業	104	農地の現地確認時にタブレットPCを活用して業務の効率化と負担軽減を図ります
③	5.1.3 生産調整推進協力タチアカネ補助事業	6,000	産地交付金そば減額補てん分
④	5.1.3 園芸産地育成事業補助事業	149	花卉農家にダリア苗の補助を拡充します @45×2,200本
⑤	5.1.3. 遊休荒廃農地対策事業補助事業	200	遊休荒廃農地対策事業補助金 10a当たり上限4万円
⑥	5.1.3. 認定農業者等収入保険加入補助事業	83	認定農業者等農業者の収入保険の加入を補助します 補助率1/2 上限5万円 その他農業者：補助率1/4 上限3万円
⑦	5.1.5 国庫補助当郷地区柿ノ木水路改良工事	70,000	(国庫補助事業) 当郷地区 柿ノ木水路の 溢水防止工事を行います 工事請負費 7,000万円 用地費 131万4千円
⑧	5.1.8 地籍調査事業	5,860	国土調査中村3区調査に入ります
⑨	5.2.2 ライフライン等保全対策事業	2,500	電線等ライフラインが倒木による断線を防ぐため危険木を伐採します

⑩	5.2.2 薪・ペレットストーブ購入時の補助	300	薪・ペレットストーブ購入時の補助として（1台あたり5万円）30万円
⑪	7.1.1 住宅用雨水貯留施設設置補助	125	住宅用雨水貯留施設設置補助として（1台あたり上限2万5千円または5万円）12万5千円
⑫	7.2.2 村道 当郷国道北3号線・6号線道路改良工事	114,500	国道143号と岡石工業地を結ぶ村道の改良工事を行います。
商工観光移住課			
①	7.3.1 村営住宅等長寿命化計画作成事業	1,331	村営住宅等の長寿命化計画を作成します。
住民福祉課			
①	2.4.2 マイナンバーカード交付事務	802	マイナンバーカードの普及を促進します
②	2.4.3 証明書コンビニ交付事業	1,670	コンビニエンスストアでの証明書交付システムを構築します
③	3.1.3 日常生活圏域高齢者ニーズ調査	1,485	日常生活圏域高齢者ニーズ調査を行います
④	4.1.3 地球温暖化対策実行計画策定事業	3,025	地球温暖化対策実行計画を策定します
⑤	4.1.4 新型コロナウイルス予防接種事業	10,804	新型コロナウイルス予防接種事業費を計上します
⑥	4.1.5 高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業	1,951	高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業を進めます
教育委員会			
①	9.1.3 特別支援学校通学費補助	1,056	特別支援学校通学費補助します
②	9.4.3 文化会館空調設備設置事業	53,101	文化会館に空調設備を設置します 設計費 308万円 工事費 5,002万1千円

③	9.4.4 野生里芋群生地環境整備測量費	1,500	沓掛区野生里芋群生地環境整備測量を行います 委託料 150 万円
④	9.4.4 大法寺三重塔防災施設整備事業	2,738	大法寺三重塔防災施設整備事業に補助します 補助金 273 万 8 千円
⑤	9.5.2 総合体育館アリーナLED照明化事業	4,400	総合体育館アリーナをLED照明にします
公営企業会計			
①	(簡易水道事業) 当郷岡石地区の配水管布設替え工事費	26,400	当郷区岡石地籍の配水管を布設替えします
②	(簡易水道事業) 五反田配水池減圧弁の交換工事	22,000	五反田配水池の減圧弁を交換します
③	(簡易水道事業) 浄水場の攪拌機交換工事	3,850	浄水場の攪拌機交換工事を行います
④	(特定環境保全公共下水道事業) 当郷第2マンホールポンプ更新工事	880	当郷第2マンホールポンプを更新します
⑤	(特定環境保全公共下水道事業) 浄化センターばっ気装置更新工事	2,640	浄化センターばっ気装置を更新します

以上、提案しました議案のうち主な内容を説明させていただきました。

詳細につきましては、教育長並びに担当課長からご説明致しますので、ご審議の上、ご議決いただきますようお願い申し上げます。

■資料

歳入

単位:千円

款	予算額	構成比 (%)	前年度比	増減率 (%)
1 村税	385,593	12.5	31,763	9.0
2 地方譲与税	39,500	1.3	2,000	5.3
3 利子割交付金	235	0.0	△157	△40.1
4 配当割交付金	930	0.0	△170	△15.5
5 株式等譲渡所得割交付金	993	0.0	285	40.3
6 法人事業税交付金	2,200	0.1	1,400	175.0
7 地方消費税交付金	92,400	3.0	△1,600	△1.7
8 自動車税環境性能割交付金	2,155	0.1	255	13.4
9 地方特例交付金	3,084	0.1	△1,677	△35.2
10 地方交付税	1,345,000	43.7	90,300	7.2
11 交通安全対策特別交付金	500	0.0	0.0	0
12 分担金及び負担金	32,701	1.1	2,260	7.4
13 使用料及び手数料	70,749	2.3	△3,797	△5.1
14 国庫支出金	290,819	9.4	152,749	110.6
15 県支出金	151,737	4.9	8,375	5.8
16 財産収入	6,227	0.2	993	19.0
17 寄附金	12,123	0.4	0	0.0
18 繰入金	256,750	8.3	△14,900	△5.5
19 繰越金	130,000	4.2	0	0.0
20 諸収入	44,004	1.4	3,621	9.0
21 村債	215,300	7.0	79,300	58.3
合計	3,083,000	100.0	351,000	12.8

歳出

単位:千円

款	予算額	構成比 (%)	前年度比	増減率 (%)
1 議会費	39,631	1.3	△364	△0.9
2 総務費	622,523	20.2	92,991	17.6
3 民生費	733,248	23.8	26,926	3.8
4 衛生費	230,678	7.5	549	0.2
5 農林水産業費	257,530	8.4	86,572	50.6
6 商工費	103,188	3.3	△1,873	△1.8
7 土木費	417,516	13.5	66,134	18.8
8 消防費	151,130	4.9	22,977	17.9
9 教育費	336,639	10.9	75,988	29.2
10 災害復旧費	17	0.0	0	0.0
11 公債費	180,900	5.9	△8,900	△4.7
12 予備費	10,000	0.3	△10,000	△50.0
合 計	3,083,000	100.0	351,000	12.8

特別会計

単位:千円

会計名	令和4年度 予算額	前年度 予算額	前年度比	増減率 (%)
国民健康保険特別会計	579,844	546,623	33,221	6.1
別荘事業特別会計	16,575	16,366	209	1.3
介護保険特別会計	550,609	554,666	△4,057	△0.7
後期高齢者医療特別会計	67,499	66,802	697	1.0
合 計	1,214,527	1,184,457	30,070	2.5

公営企業会計

単位:千円

会計名	令和4年度 予算額	前年度 予算額	前年度比	増減率 (%)	
簡易水道事業会計	収益の支出	178,843	180,323	△1,480	△0.8
	資本の支出	154,076	86,377	67,699	78.4
計	332,919	266,700	66,219	24.8	
特定環境保全公共 下水道事業会計	収益の支出	221,125	223,790	△2,665	△1.2
	資本の支出	193,443	199,630	△6,187	△3.1
計	414,568	423,420	△8,852	△2.1	
合 計	747,487	690,120	57,367	8.3	